令和４年度
志茂地区地域円卓会議　概要

■日　　時：令和４年９月１５日（木）午後２時～３時３０分

■場　　所：志茂ふれあい館ホール

■参加団体

志茂町会自治会連合会（志茂一丁目自治会,志茂二丁目町会,志茂三丁目自治会,志茂四丁目町会,志茂五水門自治会）【連】　　青少年志茂地区委員会【青】　　赤十字奉仕団志茂分団【赤】

民生・児童委員協議会赤羽東地区（代表会長,副会長,一丁目委員,三丁目委員,五丁目委員）【民】

みずべの苑高齢者あんしんセンター【み】

■会議概要

１．開会の挨拶　　志茂町会自治会連合会長より挨拶があった。

２．円卓概要説明　　事務局より円卓会議の説明があった。

３．各団体の活動報告

【青】コロナのため２年間活動が低下していた。５月：委員総会（飲食無し・50 人程度）、６月：なでしこ小あいさつ運動（10 人程度／日）、７月：社会を明るくする運動・講演会を実施した。今後は、10 月：なでしこ小の第２回あいさつ運動、10 月：しもっこミニフェスティバル共催、10 月：スタンプラリー（地域めぐり）、２月：スポーツ大会（内容はまだ未定）です。

【赤】２年間定例会など事業が十分に実施できずにいた。そのなかで募金活動について継続してやってきた。10 月：赤い羽根共同募金を実施する。その後は、秋：減災セミナー、年末：歳末たすけあい募金を行います。

【民】コロナ禍で、例月会合はやっているが書面開催になったりもしていて委員同士が顔を合わせる機会が減少している。我々が活動していくには、町会の催しなどを通じて情報収集しなければならないが、この２年できていないのが現実。

【連Ａ】コロナ禍であるが、毎月常任理事会を開催するよう改めた。幹部会も 20 名近く招集して開催している。防犯カメラを１２台から 15 台に増強申請中。防犯カメラの効果も実感している。災害時の要支援者名簿を区から受け取った。今後は、民生委員の方と協力して個別の避難計画書を作り始めている。一人ひとりにきめの細かい対応したい。

【連Ｂ】防犯部で月２回巡回、リサイクル部で月１回町内清掃、防火部で２、３か月に１回資機

材点検を行っている。青少年部では提灯行列を毎年やっていたが今年も断念した。今後は、10月：ハロウィン（子どもまつり）、3月：新入生お祝い（新小1・新中1に記念品）、婦人部では9月に敬老記念品、秋のお茶会、自治会として12月に餅つき大会を予定している。

【連C】1点目は、町会会館の建替え計画がある。現会館は来年で築60年になり老朽化が進んでいる。①地域の多くの人が集える会館、②災害支援機能を備えた堅固な会館、③環境に配慮した持続可能な会館、という3つの建替え方針を掲げた。2点目は、安全安心マップの公開についてです。グーグルマップに消火器、消火栓、防火水槽、私道防犯カメラなどをプロットして誰でもスマホでも見られるようにした。消火栓のマップでは1,200件のアクセスがあった。
3点目は、高齢者見守りネットワークについてです。9月1日にあゆみの会が発足し、民生委員さんが中心となって運営委員会で運営していく。スタートしたばかりだが、緩やかに粛々と着実に前に進めていく。

【連D】毎月1回の理事会と資源回収を行っている。岩淵小学校で防災訓練を実施する。防災カメラの新設も予定しており、通学路もあり来年以降も防犯カメラを増設し、事件事故に対応していきたい。

【民B】青空体操に参加し、できるだけ顔を覚えてもらえるように活動している。「しもぞうハウス」は北本通りを渡るのは大変だと感じ、自宅1階をおしゃべりサロンとして開放している。

【民C】先月からかがやきバースデー事業を開始。1歳の赤ちゃんに招待状を配った。高齢者には77歳、88歳、100歳のお祝いについて郵送した。年寄りが休めるベンチを4か所作った。防犯カメラが6台あり、設置から年数が経過し解像度は良くないが時々役立っている。また、最近の話としては、高齢プレミアム商品券が盛況で15分足らずで売り切れた。12月3日に子育て支援券の販売が予定されているが、高齢に比べ盛況さに欠けている。

【民D】マンションが多く、子どもさんや外国の方も多い。みんなで応援かがやきバースデーは月8～11件くらい。外国の方への訪問の仕方が難しい。新築だとマンションを探づらかったり、そのポストも名を表示してないことが多いので分かりづらい。1件に対し4回くらいは足を運んでいる。

【民E】見守りは、「しもぞうハウス」にて月2回行っている。

【み】安心センターは現在区内16所となっている。区から委託を受け高齢者の相談を担当している。職員8人で3職種（主任ケアマネージャー、看護師、社会福祉士）で構成している。毎月、サロンや元気はつらつなど、施設を借り外部講師を呼んで事業を行っている。コロナ禍でも現在は以前のように概ね活動ができている。ただし歌声サロン、映画サロンなど密になったり声を出す事業については内容を変更している。各町会の青空体操にも協力させていただいている。本来は自主化を目的とした活動なので、地域内でやってくれる人がいれば協力いただきたい。見守り

部門では、「しもぞうハウス」で平和ルームを開催しているので集まっていただきたい。また、認知症サポーター養成講座は参加者３～４人でも出張対応するので相談いただきたい。

【連Ｅ】各町会・自治会、民生委員の方々、青少年、日赤などご苦労が多いことを実感した。会員外の方々が見守りから洩れてしまうことが心配。各町会でも年間で１～２人は不審死（者）があると思う。町会長は呼ばれて立ち会ったりする。防犯カメラは各町会で増えているようだが、商店街と合わせて 16 台になっている。警察への協力対応は規約で捜査令状を前提条件としていて、令状が無ければ映像を見せない。やたらに見せると、後で訴えられるということもあるので各町会でも注意したほうが良いと思っている。「しもぞうハウス」は個人の持ち物を、北区社会福祉協議会を経由して地域に提供してもらっている。なでしこ小学校はいよいよ来年は 100 周年行事を実施する。各町会自治会さんにはご寄付などお願いしてまいります。

４．高齢者の見守り、子どもの貧困、ヤングケアラーについて

【青】大きな枠の中で考えている。家族の事情によって、子供たちが外に出て体験できない状況があるやに聞いている。地域内におけるイベントをひとつでも多く開催して、参加機会を設けていくことで課題に対応していきたい。

【赤】まさにこのような活動を支援していくための募金活動を実施している。支援団体さんの必要な活動資金の調達に、私共が少しでも協力できたらという気持ちで活動している。

【民Ａ】高齢者の見守り、子どもの貧困も我々民生委員・児童委員が取り組んでいかなければならない問題。個々の民生委員がすべてを抱えることはできないので、町会単位で活動していこうという方向で取り組んでいる。高齢者安心センターとも情報を共有して対応していきたい。子どもの貧困問題では、区内では子ども食堂とかの活動に取り組んでいるところもあるが、志茂では至っていない。「しもぞうハウス」については、福祉の取り組みとして、まずは社協に志茂へ来てもらって地域の拠点として活用していただき、今後様々な活動に活用してもらえたらと期待している。我々民生委員もその活動に協力して一緒に行動していきたいと考えている。

【連Ａ】高齢者の見守りは、民生委員と町会自治会が一緒になってやっていかなければならない問題。マンパワー不足は感じている。情報収集を充実させるためにはコミュニティーを深めてもらうことが重要。子ども貧困・ヤングケアラーについては情報が上がってこない。子ども食堂などの困っている人の居場所を用意し、問題を顕在化していくことが必要。子どもの貧困は親の問題であるので、親に繋がっていかないと問題を乗り越えられない。

【連Ｂ】高齢者につきましては、みずべの苑さんと交流活動を行っている。子どもの貧困やヤングケアラーの問題では、町会で実態把握が難しく、民生委員さんとの情報交換が必要だと感じている。青少年地区委員会の活動で子どもたちに接しているが、民生委員さんにも参加していただけたら情報共有ができるのではないかと思う。

【連Ｃ】わが町会で高齢者見守りネットワーク「あゆみの会」を発足させたのは、人口の４人に一人が高齢者という時代となり、少数の民生委員の対応では大変なことと思ったからである。わが町の長寿会は元気な会員が多いので、元気な高齢者がそうでない高齢者を見守るといいう発想で「あゆみの会を」を始めた。日頃の民生委員の活動に加えて、長寿会の活動、町会の組織的な支援、フットワークのよい高齢者あんしんセンター等の関係機関が連携して取り組むことは見守り活動にとって極めて重要である。

子ども貧困・ヤングケアラーについては、やはり状況がなかなか把握できない。関係機関のネットワークで情報があがってくるのはこれからだと思う。北区から提供された災害時要支援者名簿について介助者などが掲載されて概ねの状況は分かるが、むしろ名簿に記載のない方について心配している。こうした方々についても、今後「あゆみの会」の活動を通じて把握できれば大変よいことと考えている。

【連Ｄ】永寿会というもがあってお誕生日会とか開催している。町会未加入の方は取りこぼれてしまう。子どもの貧困・ヤングケアラーについても情報があるわけではないので対応できていない。プライバシーにかかわることなので、情報を聞き及んでも関わりにくい側面が大きい。町会が何かやるというのは厳しいので、国や東京都、区に主導していただかないと難しいと思う。

【民Ｂ】青空体操は良い取り組みだと思っている。顔を合わせて回を重ね、顔を覚えてもらえることは大きな成果だと思っている。保育園の先生方とも交流できる。子どもの貧困については、なでしこ小に顔を出していて、近年、そういった事例に対し、先生や区（子どもセンター）とともに対応を協議することができた。シニアクラブ活動では輪投げゲームを通じて交流もある。高齢者安心センターとは連絡を密にして情報共有を図っている。最近は 40 代 50 代の方の精神起因の引きこもりが気にかかっている。近隣の方が本人に代わって SOS を発してくれるので事象を察知できたりしている。区とも協力体制をとって対応している。自宅サロンも活用してもらっている。

【民Ｃ】自分は働きながらの民生委員活動なので、どうしても受け身になりがち。そんななかでも相談事があったりすればすぐに対応している。子育て支援券は増枠してもらい支援が充実したと思っている。商店街のほかドラッグストアでも使えて、補助率も大きいので子育て世帯には極めて利便性が高かったようだ。

【民Ｄ】高齢で心配しているのは町会未加入者とアパート・マンション住まいの方たち。集合住宅は出入りが激しいため情報把握や関わり方が難しく躊躇してしまう部分もある。子どもたちのあいさつは良くできていて自分も積極的に声掛けしている。お母さん方にも接するようにして、志茂子ども交流館を紹介したりしている。高齢者の孤独死はとても心配していて、町会さんで情報があれば共有してもらえるとありがたい。

【民Ｅ】近所には年寄りが多い。民生委員の担当替えがあり区方針に従っているが、本人からのたっての希望で近所のおばさんとして接しているケースもある。担当が離れていると、近所でな

いと異常を察知できないこともあるので悩むことがある。

【み】高齢者の見守り対応では、青空体操とか各サロンで来ていただいている方たちと接触することができている。町会や民生委員さんで気になることがあれば連絡いただき関わりたいと思っている。相談いただければ必ず訪問し、その後の状況などを報告していくので、今後もご協力いただきたい。ヤングケアラーについては、最近取り上げられるようになってきたところだが、安心センターでも志茂地域の情報がない。子どもの貧困もヤングケアラーも学校と切り離せない部分が大きい。ある自治体では学校の先生向けに研修を行っている。先生方が察知している情報が少なからずあると思うので、学校との連携が重要ではないかと考えている。子どもの貧困の部分では、志茂地域もフードパントリーという児童扶養手当受給世帯に食品配布しているところがあるようにも聞いている。見えない部分にどう介入していくかが課題でもあり、関係団体と関係を深めていきたい。「しもぞうハウス」における多世代交流の手法を提案していて、見えない部分を見える化していく手段として取り組んでみたらどうかと考えている。

【連Ｅ】皆さん苦労されていることが良く分かった。北区の高齢者の見守りネットワークというのは志茂が最初に取り組んだ。見てやってるんだではなくて、自分たちで見守るんだという姿勢が重要で、それを貫いてやってきた。高齢者に遊び場の提供、遊び方の伝授、提案も行っている。子どもの貧困・ヤングケアラーについては、学校と PTA、地域が密になって取り組んでいかなければ情報が出てこない。子ども家庭センターに相談するのも良い方法かなと思っている。

５．閉会の挨拶　民生委員・児童委員代表会長より挨拶があった。